平成29年度　高志中学校　学校関係者評価書

（問）　・学校評価書の成果と課題が適切であったか。
　　・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

（意見を聞いた方）
・高志高校・中学校PTA会長、副会長

（意見欄）
〇教務部関係
・学習面では学校の方針を保護者へ伝えることで理解を得られており、信頼の厚さが読み取れ高く評価できる。学習内容が難しくなる2年次の英語では、記憶だけでは結果に直結しないため英語に興味を持たせる取り組みが必要だと考えられる。
・時間的な制約が大きいと思いますが、今後も積極的に取り組んでいただきたいと思います。
・全般的に高評価を得ており、大変、素晴らしいと感じた。しかしながら、生徒の中には、ごく少数ではあるが、C、Dの評価があったということは心が痛い。ここに配慮した、ご指導を今後も是非、推進していただきたい。
・3年間の学習の成果が、生徒の回答で見てとれる。自信を持たせる事が今後の成長につながると思われる。
・大変すばらしいと思います。中学3年生の英検の目標を準2級ではなく、2級にしてはどうだろうか。

〇指導部関係
・学習以外の活動こそコミュニケーション力の向上に役立つと考えられるので、出来るだけ参加できるように生徒の心の中の壁の排除やさりげない後押しを行っていただきたい。中高の交流に関しては1期生に比べ低下することは致し方ないが、1年次から担任の先生が意識を持って取り組むことが重要だと考える。
・先生方のご努力に反し、生徒の自覚が低かった事は、非常に残念に思われる。学校祭の各実行委員会や応援団に、中学校からも少数で良いから交えるのも良いのではないか。他にもSSHやSGHの研究参加や、強いては交流事業等あっても良いのではないか。高校生が復習のために中学生に授業するなど。
・高校生との関わりにまだまだ戸惑いがある。
・大変すばらしいと思います。一期生が進学した事で、高校生は中学生への理解がさらに深まると思います。
これからはあまり高校生のことを気にすることなく指導してゆけば良いのではないでしょうか。

〇研究部関係
・高志学については生徒も保護者も理解が深まり、目的の浸透が図られている。3年生の成果発表などを通して、先輩の活動に触れることで、1年生から興味を持って前向きに学習できるようになると考えている。
・中央において「ふるさと福井」に貢献できる人材育成も、大変貴重な事と思い、それに繋がる大切な取り組みと高く評価しております。しかしながら、人口減少の止まない福井での就職にも導いてくださるとより良いかと存じます。
・生徒の中で「ふるさと福井」について具体的に見て感じる事ができてきているが、家庭の中で福井を感じる事はないのかと感じる。
・大変すばらしいと思います。卒業式の時、西川知事が大変うれしそうに高志学の発表に耳をかたむけていらっしゃった。

〇全体
・生徒たちの表情が明るい点が、良い学校であることの証明であると感じる。現状の成果以上を求めることは厳しいが、慢心することなく目標を掲げて頑張っていただきたい。
・高校生との交流は、中高一貫ならではの特色だと思います。交流することで中学生の学習意欲の向上に役立つものになることを期待します。
・中学校においては、ポテンシャルの高い生徒たちを大切に育てていただき大変有難く、期待が大きくふくれます。将来有望な生徒たちが一人でも多く、福井に戻ってきてくれることを願います。
・中高一貫校としてのさらなる充実を期待する。

（学校関係者評価を踏まえた今後について）
・高志中学校の特色ある教育について、全般的に理解が得られている。しかし、英語教育の成果や中学校と高校の交流事業、また、ふるさと学習における家庭との連携などについて改善の余地があると指摘をいただいた。日頃の授業や生徒会活動を工夫し、評価の改善に努めていきたい。また、英語教育について、より高い目標を設定すべきとの提言をいただいたので、今後、検討したい。